

◆社名変更の狙いと今後の事業展開は

4月1日にイーリバースドットコムから「リバスタ」に社名を変更した。2007年に創業し産業廃棄物処理の電子マネーフレストサービス事業を展開。17年には新たに建設現場施工管理「Build e（ビルディー）」、20年に現場ICT機器ソリューション「BANKEN（バンケン）」のサービスを開始した。これまで現場の課題解決に向けたツールを提供し続けてきた同社の高橋巧代表取締役は社名変更の狙いなどを聞いた。

◇

——社名変更の目的は。
「創業時は電子マネーフレストサービスのなじみがなく、サービス名称と同じ『イーリバースドットコム』を社名にすることで、お客さまにサー

リバスタ代表取締役



たかはし
高橋 巧氏
たくみ

とは。

「当社のサービスはお客さまのニーズに耳を傾け、お客さまと一緒に製品を作り込んできた。こうした企業文化を引き継いでいくためにも『リバース』という言葉を残したかった。それと建設現場を交えるには既存のやり方（スタ

と予想している。電子マネーフレストサービスのお客さまは2300社を超え売上高で大きな割合を占めているが、ビルディーも大手ゼネコンをはじめ180社を超えるお客さまに利用いただくまでに成長している。ビルディーは現在、作業間調整を行う『調整会議』と『入退場管理』『労務安全』の3サービスを提供しているが、今後『進捗（しんちよく）歩掛』『位置情報』『資機材

——企業の将来像をどう描く。

「当社は建設現場のお客さまに育ててもらった。現場の課題解決に向け、お客さまと一緒に考え、そのツールを提

現場とサービス作り込み

この人に聞く

ビス内容を印象付ける狙いがあった。電子マネーフレストサービスも普及し、『ビルディー』や『バンケン』も順調に伸びている。こうした事業の多角化に合わせ、社名を変更することにした」

——リバスタに込めた思い

「今期の売上高を4億円超

一層高めていきたい」

「今後は下請企業（専門工事業業者）向けのサービスも提供したい。例えば建設キャリアアップシステム（CCUS）の入退場や元請による評価に合わせた独自のポイント制度などを通じて、現場で働く人が適正に評価され、働きがいを感じる事ができる、そんなサービスを提供していきたい」。

